

第2次盛岡市有公共施設トイレ環境整備計画【概要版】

1 計画の策定に当たって P1

市が保有する公共施設内のトイレについて、平成31年（2019年）3月に「盛岡市有公共施設トイレ環境整備計画」（以下「第1次トイレ計画」という。）を策定し、トイレ環境整備を進めてきました。その結果、洋式化率が上昇し、衛生環境の改善が図られましたが、依然として老朽化が著しく、洋式化率が低い施設があることから、引き続き「第2次盛岡市有公共施設トイレ環境整備計画（以下「第2次トイレ計画」という。）を策定し、トイレ環境整備に取り組むものです。

- 計画の目的 公共施設内のトイレについて、計画的にトイレ環境整備を行い、多様な人々が利用しやすい施設とすること
- 対象施設 （仮称）「盛岡市市民利用・活動施設個別施設計画」の対象施設のうち、第1次トイレ計画で未整備の57施設
- 計画期間 令和8年度（2026年度）から令和17年度（2035年度）までの10年間

2 第1次トイレ計画の実績 P2～

第1次トイレ計画の事業計画262件に基づき実施した整備概要は次のとおりです。計画期間内に238件（90.8%）の整備が完了する予定であり、計画目標は概ね達成する見込みです。

項目	設置施設数	設置数
洋式便器	174施設	1,419基
多目的トイレ	17施設	29室
オストメイト	48施設	60台
おむつ交換台	24施設	32台
ベビーチェア	19施設	24台

3 市が維持管理するトイレの現状 P4～

令和6年度末（2024年度末）におけるトイレを有する572施設についての現状は次のとおりです。市全体の洋式化率は、76.9%ですが、小中学校校舎64.4%、小中学校屋内運動場61.8%、高等学校35.3%と学校関連施設の洋式化率が低い状況となっています。

	平成29年度末	令和6年度末
洋式化率	52.4%	76.9%
多目的トイレ設置施設数	167施設	193施設
オストメイト設置施設数	40施設	126施設
おむつ交換台設置施設数	49施設	89施設
ベビーチェア設置施設数	16施設	50施設

4 トイレ環境整備の方向性 P7～

第2次トイレ計画のトイレ環境整備の方向性は、次のとおりです。

- ・便器の洋式化、床のドライ化、配管の更新などトイレの全面更新を基本とします。
- ・全面更新に併せて、ユニバーサルデザイン化及び感染症対策に配慮します。
- ・整備範囲は、将来的な利用者数等を考慮し必要最低限とします。
- ・小中学校及び高等学校のトイレは、児童・生徒が日常的に使用することから、速やかに整備を実施します。
- ・学校以外の施設は、（仮称）「盛岡市市民利用・活動施設個別施設計画」に基づく長寿命化工事等に併せて効率的に進めます。

5 整備目標等 P8

第2次トイレ計画の最終年における洋式化率の目標値は、次のとおりです。今回の計画により、必要数の設置を終える予定であり、トイレ環境整備は概ね終了するものです。また、本計画期間内における事業費の概算は次のとおりです。

洋式化率の目標値
（令和17年度末）

85.6%

事業費概算

22.0億円